



「わたしを離さないで」 カズオ・イシグロ 著 早川書房 B933-1

本作は、2017年ノーベル文学賞を受賞した作品です。
 作者の「イシグロ・カズオ」は日本の長崎で生まれ、5歳で家族とともに渡英しました。現在は英国在住の日系人なので、英国人としての受賞です。ところで、日本人として過去に受賞した作家をご存じですか？
 初めて受賞した日本人作家は「川端康成」1968年。二人目は「大江健三郎」1994年です。機会がありましたら、このお二人の作品も手に取ってみてください。
 さて、本題の「わたしを離さないで」は、ノーベル賞受賞前に日本でテレビドラマ化されました。主人公には「綾瀬はるか」、恋人役に「三浦春馬」幼馴染に「水川あさみ」が出演。
 つい先日、偶然にもテレビで視聴しかなりの衝撃を受けた作品で、原作を手取る切っ掛けとなりました。
 内容は、介護人である「わたし」の一人称から始まり「わたし」が育った孤児院に遡ります。一見、どこにでもある貧しく慎ましい孤児院の生活。読み進むうちに、読者はその世界に違和感を覚え始めます。「わたし」とその幼馴染たちの未来には、どうにもあがくことのできない運命が待ち受けているのです。人間の倫理を超えた内容を、小説としてここまでリアルに描けるものなのか？と震撼した一冊でした。
 推薦者 土屋



貸出ランキング 9月～10月



貸出回数	書名	著者名	出版社
3回	くれよんのくろくん	なかや みわ さく・え	童心社
3回	おちばいちば	西原 みのり 作	ブロンズ新社
3回	The Giving Chair	香山 美子 作	アールアイシー出版
3回	ふゆってどんどころなの？	工藤 ノリコ 作・絵	学研教育出版
3回	実習の日誌と指導案サポートブック	大元 千種 監修	ナツメ社
3回	春色梅児誉美	酒井 美羽 著	中央公論新社

※貸出回数が同数のものが複数冊あったため、その中から司書がピックアップしました。

●●編集後記●●



秋があったのかと疑いたくなるほど急激に寒くなってきましたね。空気も乾燥してきたので、防寒をしっかりと風邪を予防しましょう。

これから実習や長期の休みで本を借りる機会が多くなると思います。本を借りていることを忘れて汚してしまったり等しないように、大事に扱っていただくようお願い致します。

今号が今年最後の図書館だよりです。今年は環境が色々と変わって大変だとは思いますが、元気に新年を迎えられるように頑張りましょう。

次号の『図書館だより』は2021年1月に発行予定です。担当 加羽澤